

学生時代に身に着けておくべき事 第11弾

日本学生卓球連盟 副会長 鈴木 一雄

「メモの魔力」（起業家・前田裕二著書・幻冬舎出版）について

今年年頭からビジネス本としてこれ迄多くのビジネスマン等に読まれ、学生でも社会人でもメモを取る習慣を身につけるのが大事と思い取り上げました。

《メモの考え方として》

- 1) ファクト(事実)を記録するためのメモ
- 2) 知的生産の為のメモ(目・耳にする物・気になる事等つまり目的意識を持ち、あらゆる情報をメモする) 得た情報から知的生産・創造を行う意識を持つ。
- 3) 次に1) 2) のメモを生かす為、メモの取り方を考え方が窮屈にならない様、メモのスペースを広く(まず「事実」「発想」を脳の使い方により書くスペースを分ける。つまり事実を書き次のスペースに生産・創造思考を書く。

その効果は

- ・メモで、目にする情報全てをアイデアに変える事が出来る
- ・メモで、本当の自分を見つめ直す事が出来る
- ・メモで、夢をかなえる事が出来る
- ◎メモの魔力を手にした時、あなたは、何者にでもなれる。
- ・メモによって世界を知り、アイデアが生まれる。
- ・メモによって自分を知り、人生のコンパスを持つ。
- ・メモによって夢を持ち、熱が生まれる、その熱は確実に自らを動かし、人を動かし、そして人生を、世界を大きく動かします。

*** 全てのヒントは日常の中にある。**

最後にメモの手法・考え方などを含め、実際の「メモの魔力」をぜひ読んで頂き参考にしかつ身に着けて頂きたいと思います。